

夏休みを迎えた受験生に送る言葉

高校入試に向かう受験生にとって、夏休みほど差がつく時期はありません。なぜならば、勉強する子とそうでない子の差が、一気に広がるからです。

冬休みは受験が近いので、誰もが志望校を意識して勉強をします。しかし、冬休みは短いので、出来ることが限られ、それほど学力の差がつきません。

入試が終わってから学力が伸びても、志望校合格を目標とする受験勉強では、意味がありません。

以前、どこかの大手予備校の広告に次のようなコピーがありました。

「学力は無限に伸びる。しかし、入試は待ってくれない。」

みんながまだ受験勉強を始めていない、今この時期から受験勉強を始めないと、希望の高校に合格することは難しくなります。

前期期末テストの勉強と並行して、入試の基礎固めの学力を夏休みに身につけて欲しいと思います。

そして受験勉強を通して学生時代に、社会人になったらさらに大切になる、「自ら考えて勉強する習慣」を身につけてほしいと切に願います。

高校に合格することは大切ですが、高校の3年間でどう頑張るかのほうがもっと大切です。

その頑張りを後押しするのが「自ら考えて勉強する習慣」です。